

「町田市新たな学校づくり計画」における建設期間中の 教育環境のため教員配置の強化を求める請願

請願の趣旨

「町田市新たな学校づくり推進計画」では、少子化が加速する前の現在において実施することで、学校規模の拡大を伴います。そのことにより、**子どもの学力と成長に大きく影響する教育環境を悪化させる懸念があります。**

特に、鶴川第三小学校と鶴川第四小学校が統合する鶴川中央小学校は、町田市で2番目に大規模な学校となる見込みです。統合後の学級数は24クラス、児童数は737名を予定しています。一部の学年では今の学級人数を超えて**30人以上の学級は4学年の見込みですが、これは新しい校舎ではなく、今の校舎で起こる現象です。単に統合というだけでも大きな変化ですが、更に受けもつ児童数も増えれば教員の負担感は、通常学級の35人とは異なります。**

学校規模が大きくなることによる、**子ども一人ひとりへの目が届きにくくなる**ことも起こります。また、通学路の変更や距離が長くなることで、児童の安全確保や登下校の確認を行う**先生の負担は非常に大きい**です。通学責任のある保護者とのやり取りも増え、教員の負担は増大します。

私たちは、教育環境（学校規模・施設・通学環境など）は、子どもの「安心して学ぶ力」「集中力」「意欲」「学力」に確実に関わるとの認識に基づき、より良い教育環境を求め、新たな学校づくり推進計画に対して改善を求めて請願いたします。

請願項目

つきましては、下記項目について実現されるよう求めます。

1. 町田市の小中学校統廃合計画において建設期間の統合時期に小学校の30人以下学級の実施、または、統合前の学級数の教員人数を確保することに努めること

2. 教員加配に関して、この計画を承認している**東京都に対して要望**すること
3. **通学の安全性確保の徹底**: 通学路が長くなる児童に対し、**登下校時の安全確認体制**を強化し、**事件事故のリスク**を可能な限り排除するための具体的な対策
4. **子どもたち、保護者の心のケアと教員負担の軽減策の実施**: 教員に**ゆとりと時間的余裕**を確保するため、専門的なスクールカウンセラーを町田市独自で統合校には常駐させることの検討